

■公益法人へ移行しました。

当委員会では、新公益法人制度の施行に伴い、公益社団法人への移行に取り組んでまいりましたが、平成25年1月4日をもって移行登記を行い、新たに「公益社団法人鳥取県緑化推進委員会」として一步を踏み出すことになりました。

今後は公益社団法人としての責任と自覚をもって、緑化運動の推進に全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■緑の募金にご協力をお願いします。

当委員会の主要業務であります「緑の募金」運動を本年度も下記のとおり実施することとし、3月25日（月）から5月31日（金）までの間、春の募金運動を県下一斉に展開することとなりました。

この緑の募金は、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（平成7年法律第88号）に基づいて実施するもので、森林の整備や各地域・学校・公共施設などの緑化等に活用され、地球の温暖化防止にも役立っています。

また、5月26日には本県で第64回全国植樹祭の開催を控えており、この機会を活かし、県内の一層の森林整備・緑化の推進と県民の緑化意識の高揚を図るとともに、全国植樹祭に向けての気運を高めていくため、みなさんのご協力をよろしくお願い申し上げます。



平成25年募金運動計画

- (1) 目標額 2,500万円
- (2) 募金期間 春期 平成25年3月25日（月）～5月31日（金）
秋期 平成25年9月1日（日）～10月31日（木）
- (3) 募金方法 街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等
- (4) 主な用途 森林の整備（公共性の高い森林の整備等）
緑化の推進（公共施設等への植樹、緑化イベントの開催、
緑の少年団育成等学校関係の緑化、地域の緑化等）



■平成24年「緑の募金」実績

家庭募金 1,624万円、職場募金 355万円、
学校募金 127万円、街頭募金 65万円、
企業募金 46万円、その他募金 59万円、合計 2,276万円となっております。

皆様にご協力頂いたこの募金について、街頭募金、学校募金、家庭募金にかかるものは、65%を限度に各市町村支部を通じて、緑化活動を希望する団体に助成金として交付し、地域や学校などの緑化に活用してもらい、他の募金については、公募事業等により、各種団体やみどりの少年団等が行う森林づくりや緑化イベントなどの助成金として交付しました。

「緑の募金」の用途につきましては、外部委員からなる「緑の募金等運営協議会」の意見を聞きながら、適切かつ有効に活用するように努めています。今後ともより一層のご協力をよろしくお願いします。

■第1回通常総会の開催

と き 平成25年2月14日（木）

ところ 白兎会館「飛翔の間」

公益社団法人移行後、初めての通常総会を、正会員110名のうち86名（出席39名、委任状47名）の参加を得て開催しました。

総会は伊藤理事長の挨拶に続いて、公益社団法人国土緑化推進機構からの祝電披露、その後議長に智頭町森林組合代表理事組合長の寺坂安雄さんを選出し、議事録署名人に団体会員で鳥取日野森林組合の大江國夫さん、個人会員の有田寿行さんを選任し、議事に入りました。

第1号議案「平成24年度事業報告及び収支決算について」報告し、監査結果を大家繁博監事から報告していただき、質疑等のあと1号議案は議案どおり承認されました。続いて第2号議案「平成25年度事業計画（案）及び収支予算（案）について」説明し、質疑等のあと承認されました。

その他、当委員会としても第64回全国植樹祭に協力していくことで了承されました。



役員の皆様（平成25年1月4日現在）

役 員	氏 名	所属役職名	役 員	氏 名	所属役職名
理事長	伊藤美都夫	鳥取県議長	理 事	本城 浩	日本海テレビジョン放送(株)執行役員編成営業局長
副理事長	西山 信一	鳥取県農林水産部長	理 事	中村 力男	鳥取県建設業協会常務理事
副理事長	森下 洋一	鳥取県森林組合連合会代表理事 会長	理 事	藤原 眞澄	鳥取県山林樹苗協同組合理事長
理 事	田中 朝子	鳥取県連合婦人会会長	理 事	門脇 憲彦	(株)新日本海新聞社執行役員総務 局長
理 事	浜橋 正教	鳥取県市長会事務局長	理 事	前田八壽彦	鳥取県木材協同組合連合会会長
理 事	山本 義紀	鳥取県町村会 若桜町副町長	監 事	田中 静雄	鳥取県造園建設業協会会長
理 事	蔵増 保則	鳥取県農業協同組合中央会専務	監 事	大家 繁博	鳥取県椎茸生産組合連合会会長

地域緑化推進事業

豊かな自然にふれあうスローライフのすすめ

スローライフクラブ八頭 会長 三浅 保則



私達は、扇ノ山のふもとにある八頭町姫路公園周辺を活動拠点とし、扇ノ山や八頭町内の豊かな自然をこよなく愛し、ゆったりとした時間の中で、その豊かな自然と触れ合える「スローライフ体験」を企画・実施している会員約40名の団体です。ご存知の方もおられると思いますが、「スローライフ」とは、世の中のみめぐるしい「スピード（流れ）」から離れ、自然や田舎でゆったり、スローに過ごすことによって、自然の豊かさや大切さ、喜びや楽しみなど普段忘れがちなことを感じ、心を満たすという生き方、考え方です。

私たちの主な活動としては、5月に「扇ノ山山開き」を開催し、多くの登山客に、豊かな自然を感じてもらいながら、気持ちよく登山していただくと同時に、自然を大切にするという観点から「携帯トイレ」の普及活動も行っています。また夏と秋の2回、姫路公園において、大阪市内の小学生と保護者の方に参加していただき、キャンプや登山、ヤマメのつかみ取りなど自然をフィールドとした体験学校を開催しているほか、山の恵みである山菜・きのこを食べる会や大変珍しい「ザゼンソウ」群生地保護活動も行っています。

春から秋にかけては、月1回程度開催される地元の野菜等を販売する「軽トラ市」とあわせて、一般の方を対象にシイタケやなめこの植菌体験を行ったり、平成23年より緑の募金事業「地域緑化推進事業」を活用し、雪で被害を受け撤去した桜に代わる新しい桜の木やライラックを姫路公園及びその周辺に植樹し、自分たちで維持管理も行っています。

これからも、多くの方にゆったりとした時間の中で、八頭町の豊かな自然に触れ、「何か」を感じ、癒していただけるよう活動していきたいと思っています。



学校緑化推進事業

ブナの森はふるさとの宝！

江府町立江府中学校 校長 船越 寛明



江府中学校は、県西部に位置し、間近に奥大山を仰ぎ見ることできる、空気と水の大変おいしい環境にあります。

本校では、平成13年度にブナ林の復元植栽を目的に幼木300本を植栽する取組を行い、以来、生徒の手により下刈り等の保育作業を受け継ぎ、環境学習と森林保全への意識高揚を図ってきました。作業後は自然豊かなブナ林での野外観察を行い、その生態系や植林、ブナ林を保全することの大切さを学ぶよい機会ともなっています。

平成25年度は、全国植樹祭があり、江府町も植樹会場となっています。当日は、町内の小学生が記念植樹を行います。その苗木は今年本校に入学して来る子どもたちが学校で育てたものも使われます。下草刈りは1年生が行いますので、今年度は自分たちが育てて後輩が植えた苗木の保育作業をする事になります。平成25年度の全国植樹祭を契機に、今後も、町、及び奥大山休暇村等のバックアップのもと、森林保全、環境問題に対する意識も高まり、より一層取組に力が入るものと期待しています。



■緑の募金交付金事業

「あじさいロード」の復活に向けて

境港市支部の取り組み



境港市三軒屋町には、「あじさいロード」と呼ばれる隠れた名所があります。米川沿いに約500mに渡って植えられたアジサイは、梅雨時には鮮やかな青や紫の花の並木として、同時に住民の安全を守る天然の転落防止柵として地域の人々に親しまれてきました。

ところが近年、暑さや乾燥による枯損が著しく進行し、あじさいロードの景観は危機に瀕していました。

このことを憂慮した三軒屋町自治会と青壮年会が、美しい景観を復活させるため、平成24年10月にアジサイの補植作業を実施しました。

活動は中浜地区自治連合会の協力で行われ、緑の募金事業交付金によってアジサイ苗などの資材を準備することが出来ました。

中浜地区自治連合会は長年に渡り地区内全戸を対象とした募金運動を実施しており、毎年交付金を活用した緑化活動を積極的に行っています。

今回の作業では、雨天にも関わらず約40人の住民が参加し、3時間かけて50本以上のアジサイ苗を補植しました。多くの住民が自主的に道具や機械を持ち寄るなど、三軒屋町らしい地域を挙げた活動でした。アジサイは今後も地域住民で協力して管理していくことにしています。

中浜地区は植樹できる場所が少なく、実施できる緑化活動は限られています。このような形で地域の緑化に貢献していければと考えています。



■緑の募金贈呈式



株式会社イブキ小谷営業課長より

8月20日株式会社イブキ社長伊吹直様より緑の募金を贈呈していただきました。イブキブランド鶏卵パックのラベルに「緑の募金」ロゴマークを付け、その売り上げの一部を「緑の募金」として寄付されたものです。ありがとうございました。



11月30日、株式会社新日本海新聞社岡田晴次執行役員営業局長様より伊藤理事長に緑の募金が贈呈されました。9月～10月の「緑の募金キャンペーン」にちなんで紙面掲載した「森林保全に関する特集記事」の一部収入を、県内の緑化事業に役立ててもらおうと寄付されたものです。ありがとうございました。



岡田執行役員より伊藤議長へ

みどりの少年団交流集会



「みどりの少年団交流集会」は、子どもたちが森林の中での活動や相互交流を通し、緑を守る大切さや健全な育成を目的として、毎年実施しております。

平成24年8月9日～10日の1泊2日で、琴浦町の県立船上山少年自然の家において実施し、鳥取市立神戸小、倉吉市立北谷小、三朝町立東小、湯梨浜町立羽合小、琴浦町立八橋小、米子市立淀江小、箕蚊屋小、車尾小の8小学校のみどりの少年団総勢52名の参加となりました。

2日間とも天候に恵まれ、船上山少年自然の家の指導員の先生や引率の先生など多くの方々のご協力をいただき、予定していた日程をすべて滞りなく実施することができました。少年団の皆も元気に活動し、交流を深めることができたと思います。

- 1日目 ウォータースライダー
野外炊飯（ポークカレー）
- 2日目 下草刈り
クラフト（写真立て）



（子ども達の感想です。）

☆ウォータースライダーでは、川までの道のりはつらかったけど、とても冷たくてスリル満点でおもしろかったです。

☆カレー作りでは、ちょっとじゃがいもがかたかったけど、とてもおいしかったです。

☆2日目は、朝からかなり暑く、長そで長ズボンでの草刈りはきびしかったけど、山で木のことを教えてもらえていい勉強になりました。

☆いろんな友達ができて本当によかった。



誕生記念樹贈呈事業

平成24年度よりお子様の誕生をお祝いするとともに、緑を育てることの大切さを親と子どもが共有してもらうため、県内に居住している誕生1年以内の子どもを対象に「誕生記念樹贈呈事業」を実施しました。平成23年9月1日～平成24年8月31日生まれの赤ちゃんを対象に募集したところ、55名の応募がありました。

記念樹は樹高80cm程度の「キンモクセイ」で、段ボール箱に箱詰めし11月中旬に発送しました。

写真は記念樹を受け取られた赤ちゃんとお両親です。キンモクセイの贈呈を大変喜んでいただきました。他にもたくさんのお礼のメールをいただきました。

お贈りしたキンモクセイがお子様の成長を見守り、緑の充実に役立つことを願っています。



学校環境緑化モデル事業

ローソン緑の募金を活用して

鳥取市立神戸小学校 校長 西尾 力行

鳥取市立神戸小学校（西尾力行校長）の中庭は、平成21年度創立100周年記念事業として花壇が整備され、「なかよし広場」として子どもたちが親しんでいます。平成24年度学校環境緑化モデル事業の決定を受け、なかよし広場の除草、樹木の剪定、藤棚の整備をし、新たに13種25本の植樹を行い、「みんなの森」と名付けました。

学校環境緑化モデル事業は、（公社）国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド」事業のうち、「ローソン緑の募金」部分を財源とした助成事業で、各県の緑化推進委員会を通じて全国53の小学校に助成がなされるものです。

神戸小学校環境緑化モデル事業完成式典は、12月18日、全校児童35名、教職員13名、（株）ローソン関係者、



県緑化推進委員会・市林務水産課担当者、学校評議員が参加して行いました。植樹記念看板の除幕、関係者のあいさつの後、全校児童が感謝の気持ちを込めて勇壮な「砂見太鼓」を披露し式典を盛り上げました。

神戸小学校は自然豊かな地域にあり、なかよし広場では四季折々の花を育てています。このたびの事業で、花と香りを楽しめる木、紅葉が美しい木、実を付け鳥や昆虫が集まってくる木などが植樹され、今まで以上に、子どもたちが木々に関心を持ち、自然に親しんだり楽しんだりできる憩いの場になるものと期待しています。



事務局長就任挨拶

事務局長 岡村 通孝



この度、4月1日付で当委員会事務局長を拝命しました岡村通孝と申します。

森林・林業関係の仕事に携わるのは初めてですが、皆様方からご指導を頂きながら、一生懸命勤めさせていただく所存ですので、どうぞよろしくお願いします。

会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された団体です。

本委員会の組織運営は、正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・御協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一〇 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
（鳥取県農林水産部森林・林業振興局内）
（公社）鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

